

## マスコミ各位

平成 28 年 11 月 24 日（木）

沖縄県保健医療部健康長寿課 結核感染症班

担 当：山内、仁平

電 話：098-866-2209

## つつが虫病の発生について

ダニ媒介感染症である「つつが虫病」については、宮古保健所管内にて本年5月に3例の患者が発生しており、注意喚起を行っています。今回、9～10月に、畑や拝所での感染が推定される6例の患者が発生したので、改めて医療機関及び広く県民への注意喚起のため、情報提供します。

### 【患者の情報】

症例	診断日	年齢	性別	推定感染地域	推定感染地	刺し口	備考
No. 1	H28. 5. 25	70代	男性	宮古島市	畑	鼠径部	
No. 2	H28. 5. 30	60代	女性	宮古島市	畑	上腕/肘/鼠径部	
No. 3	H28. 5. 30	60代	男性	宮古島市	海岸/畑	下腹部	
No. 4	H28. 9. 23	80代	女性	宮古島市	畑	鼠径部	
No. 5	H28. 10. 27	70代	男性	宮古島市	畑	鼠径部	
No. 6	H28. 10. 28	60代	男性	宮古島市	調査中	背中/下肢	
No. 7	H28. 11. 1	50代	男性	宮古島市	拝所	鼠径部/臀部	
No. 8	H28. 11. 1	60代	男性	宮古島市	拝所	上腕/大腿部	
No. 9	H28. 11. 2	50代	女性	宮古島市	拝所	大腿部	

### 【つつが虫病とは】4類感染症

つつが虫病は、つつが虫病リケッチア (*Orientia tsutsugamushi*) を起因病原体とし、山野に入り病原体を保有するダニ（ツツガムシ）に刺されて感染する。ヒト→ヒト感染はない。

臨床症状：発熱(38℃以上)、リンパ節腫脹、発疹、刺し口。

潜伏期：5～14日

治療：テトラサイクリン系の抗生物質等による治療。一般に予後良好。

発生状況：我が国では北海道を除く全都府県から患者が報告され、ここ数年は年間300～400人の患者が毎年報告されている。

**【予防】：**

- ・山野に入る際には、肌の露出を少なくし、防虫スプレーを適宜使用する。
- ・むやみに地面に腰を下ろしたり寝転んだりしない(座る時は敷物を使う)。
- ・脱いだ服を草むらに放置しない。
- ・帰ったらすぐに入浴(シャワー)する。
- ・着用した服は使い回さず、その日で洗濯する。
- ・山林や野原に立ち入って1～2週間後発疹や発熱の症状が現れたら、すぐに医療機関で受診する。

**【参考】 県内のダニ媒介感染症発生状況**

	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016 (11.22 時点)	合計
つつが虫病	1		1	2		1	2	4	9	20
日本紅斑熱			1	1	1					3
SFTS									1	1

※2008年の「つつが虫病」1例は県内初報告例

※2010年の「日本紅斑熱」1例は県内初報告例

※2016年の「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」1例は県内初報告例

**参考 URL（沖縄県感染症情報センターHP より）**

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/documents/2012tutugamusi.pdf>